



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.12

令和6年 9月 4日

文責：校長 齋藤和彦

視覚支援学校の寄宿舎で

(私の学生時のアルバイト..から)

私が大学生の時..,色々なアルバイトをしました。(とんかつ屋/宅配便の仕分け/スイミング教室/芝刈り作業等々..)この他に視覚支援学校の寄宿舎で,夕方から翌日朝までの生活補助をするというアルバイトを経験しました。

(目の不自由な小学部から中等部までの児童生徒が親元を離れて通学するための寄宿舎でした)

夕方まで宿題や遊びの補助..食事..入浴の補助という仕事でしたが,驚いたことにそこでの私の出番はほとんどありませんでした。~小学部低学年の子も「大きくなって自分でできるようにならないといけないから,自分でします。」~ははっきりと,皆こう言います。

ご飯は,ひとつの器におかずも混ぜ混ぜして..スプーンで食べるのが好きでした。

お風呂のお湯と水の調節レバーも交互に上手に押して,ちょうどいい湯にできます。

中等部の生徒は常備灯の中で遅くまで勉強しました。「将来は鍼灸師になる」とまっ白で分厚い点字の問題集に向き合っていました。

(数人がいる学習室ですが,しんと静まり返って..カチカチと点字を打つ音だけ。) →

→ 部屋に近づくと,シューズの足音で「齋藤先生ですね」と,いつも先に当てられました。

ある日,小学部の子達が学校から帰ってきてから,キックベースボールをしました。

中に鈴が入ったボールを転がします。

ストライクの幅は2m位だったか..

キャッチャーはその幅を使って,手を3回たたいて,ピッチャーにサインを出します。

鈴の音がシャンシャンと鳴ってボールが転がってきます。子ども達はひと蹴りで上手にボールにヒットします。転がるボールの音かとまる前にキャッチしたら「アウト!」です。

子ども達が先生方と考えたルールです。

私も蹴らせてもらいました(目をつむって)が何度やっても当たりません。*子ども達が残念がるかな..と,うす目を開けてヒットを打ったこともありました。(▼ズルです..)

パリ/パラリンピックが始まっています。

パリ五輪と同様,努力した人しか見ることができない景色が見えていることでしょうか。

あの時の子は,鍼灸師になれたらどうか?

数々の困難を乗り越えて,がんばって努力してきた人しか見ることのできない景色が,きっと..みえているにちがいない。

◆◇ 校長室より ◇◆

「子ども達のために..」 薫の先生方の力(心)に感謝

2学期初日..職員会議の最後に,“6年3組教室の空調不具合への対応”について先生方に相談しました。(空調設備の耐用年数も10年を超え,あちこち不具合が出始めました。1学期に業者に修繕依頼したのですが,最近の酷暑対応に至るほどの改善効果はなく,次年度の交換/新調の第一要望としました。)

~さて,【6年3組の9月はどうやって暑さをしのぐか!】が喫緊の課題。

苦肉の策として,教室の移動~それに伴う特別教室の使用止め,また,特設部活動の練習場所の調整等々がついてきます。...子ども達の環境の確保第一に,先生方の考えを募りました。

結果..6年3組教室を図工室へ丸ごと引越し。(※図工室の大きな作業机や用具等々の他室移動の手間が発生します)~会議後早々に,かなりの職員作業(暑い中での負担)は必至です。

しかし先生方は,「では,移動作業をお願いします!」教頭先生の一声で,一人残らず図工室へ。若い先生方は,腕まくりして走って..30分も経たないうちに,図工室は空っぽになりました。ロッカーの中を丁寧に掃除してくれる先生。床面に掃除機をかける先生。隅々のほこりに目を配る先生。教室からTVモニターを運び出して..あっという間に超快適空間ができあがりました。

子ども達に最適な生活環境を..と薫の先生方の一丸となった力(心)はすごい!ありがたい!~翌日から,机や椅子を移動させて,6年3組の子ども達は,空調の効いた環境の中で,集中して学習できていました。(PTA費から全教室に配備いただいたサーキュレーターのフル活用にも感謝)

